

教科名	工業	科目名	建築製図			
科目の目標	製図に関する日本工業規格および建築の専門分野の製図について基礎的な知識と技術を習得させ、製作図、設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を育てる					
履修学年	2 学年	学科・コース	建築科			
単位数	3 単位	授業形態	一斉授業			
教科書	建築設計製図 (実教出版)	副教材等				
1 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・建築の設計製図法の基礎的な知識と技術を習得すること。 ・建築造形の基本理論と原則を理解し、構想できる能力育てる。 ・専門分野の製図を通し、設計の進め方の要領、および必要な各種図面の内容とその製図法を理解し、正しく製図を作成できる能力や態度を育てる。 					
2 学習内容と進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な住宅建築設計製図の基礎を理解し、製図法について段階的に復習しながら習得する。 ・図面を組み合わせることで建物の構造を立体的に読む力を養う。 ・各種の設計法について、より専門的な知識や技術を取得する。 					
3 学習の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・1 学年時の「製図の基本」をより確実に習得できること。 ・木造 2 階建て住宅設計図を模写し、製図をする目的を明確にし、正しい製図法を習得する。 ・2 級建築士課題の模写を通して図面の配置、組立方を学ぶ。 					
4 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「関心・意欲・態度」については、出席・授業態度・提出期限を評価します。 ・「知識・理解」「思考・判断・表現」「技能」については、製図における学習の定着度を評価します。 未提出課題を放棄した場合、単位は認定されません。 					
5 授業計画						
月	単元	学習内容	評価の観点	考査等		
4	平家建専用住宅設計図	オリエンテーション	年間計画や評価について理解する。			
5		基本的事項の復習 製図例 2-4 各伏図	【関】 ・提出期限内に提出したか。 【知】 ・配置されている部材の意味を把握しているか。 ・部材が過不足なく、正しい位置に配置されているか。			
6		製図例 2-5 軸組図	【思】 ・部材の寸法を読みとれるか。 ・各部の寸法を別の図面から読みとることができるか。			
7		製図例 2-6 断面詳細図	【技】 ・線の濃さは適当か。 ・断面の表現はされているか。 ・文字はていねいか。 ・補助線の濃さは適当か。 ・図面配置バランスは適切か。			
8		2 階建専用住宅設計図	製図例 4-1 配置図兼 1 階平面図 2 階平面図・1 階屋根伏図			
9		住宅設計競技	住宅設計競技への参加 テーマ未定		【関】 ・図面にこれまでの学習した集大成として表現できたか。	
10			エスキス 平面図 立面図 断面図 主旨 イメージ模型・図 既定値計算 作図		【技】 ・線の太さ使い分け、文字高さなど製図のルールを守れているか。	
						この単元を自己評価してみよう A B C
						この単元を自己評価してみよう A B C

1 1				
1 2	2 階建専用住宅設計図	1 2 月中旬発送	【関】 ・提出期日は守れたか。	この単元を自己評価してみよう A B C
1		製図例 4 - 4 立面図	【関】 ・提出期限内に提出したか。	
2		製図例 4 - 5 各伏図	【知】 ・配置されている部材の意味を把握しているか。 ・部材が過不足なく、正しい位置に配置されているか。	
3		製図例 4 - 6 断面図・軸組図	【思】 ・部材の寸法を読みとれるか ・各部の寸法を別の図面から読みとることができるか。	
			【技】 ・線の濃さは適当か。 ・断面の表現はされているか。 ・文字はていねいか。 ・補助線の濃さは適当か。 ・図面配置のバランスは適当か	この単元を自己評価してみよう A B C

【関】は「関心・意欲・態度」、【思】は「思考・判断・表現」、【技】は「技能」、【知】は「知識・理解」をあらわす。